

こんなことに取り組みます! ~6本の柱~

子ども、学校教育

子どもの成長をみんなで支え、ともに生きるまち

例えば…

「子育てひろば事業」や児童館などを活用し、遊びや学び、健やかな育ちにつながる行事を展開します。



タブレット端末などの活用により、子ども一人ひとりの特性や習熟度などに応じた指導方法を工夫するとともに、多様な他者と協働した学びの充実に取り組みます。

健康、医療、介護、福祉

支え合いのなかで、いつまでも安心して暮らせるまち

例えば…

高齢者福祉・障がい者福祉など個別の福祉分野にとどまらず、生活困窮や自殺対策など



の取り組みをはじめ、防災・防犯体制の強化や多様性の尊重など、多様な視点と地域連携による支援を推進します。

市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化

地域で学び合い、活動し、交流しているまち

例えば…

市民が気軽に参加・活動できるイベントや、公民館や図書館をはじめとする社会教育施設



における取り組みの充実を図ります。さらに、大学や事業者などと連携した事業の推進に取り組みます。

産業振興、観光、都市農業

みんながいきいきと働き、集い、活気と魅力あふれるまち

例えば…

インターネットなどによる購買行動の変化、感染症の拡大を機に進んだ新たな生活様式や



DXの進展などの変化に対応し、市内企業や個人事業主などの経済活動を支え、産業振興に取り組みます。

都市づくり、交通、防災、防犯、住宅

みんなが安心して快適に住み続けられるまち

例えば…

「多摩市ニュータウン再生方針」に基づいて、惹きつけられ、住み続けたいまちを目指し、多様な拠点・小拠点ごとに、暮らしや新しいライフサイクルを支える機能の維持・充実に取り組みしていきます。



環境

地球にやさしく、水とみどりとくらしが調和したまち

例えば…

市民が気候問題の当事者として「気づき」から「行動変容」に繋がる取り組みとして「多摩市気候市民会議」を毎年開催します。市民全員で脱炭素社会の実現を目指す仕組みを構築します。



計画を進めていくために

行財政運営の基本的な考え方

地震や台風などの災害や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のように、将来的にどのようなことが起こるのかを見通すことはできません。

このような変化にも柔軟に対応できるよう、行政は市民の皆さんの生活を支え、明るい未来を実現するために進んでいきます。

そのために、どのような状況でも計画を確実に進めることができるよう、次の5つのポイントを中心に、多摩市の業務の基本的な考え方を定めました。

健全で安定的な財政基盤の確立

「しくみの転換」による行政サービスの改革

多様な主体との連携強化

複雑化・多様化する行政課題に対応する人財の育成・組織運営

公共施設等のマネジメント

■閲覧場所 公式ホームページ

※製本版は、印刷ができ次第、市役所第二庁舎1階行政資料室・各市立図書館に配架予定

■販売場所 市役所1階売店「ひまわり」

詳細はこちら▶



☎1013553 企画課 ☎(338)6813 ☎(337)7658